

# 平和な世界を創るために

## 1 対象・教科

小学校第6学年 総合的な学習の時間

## 2 はじめに

ロシアのウクライナ侵攻から1年半が経過した。その他にも、世界では紛争地域が多く存在している。しかし、子どもたちはこれらの出来事を身近に感じておらず、平和な世界について考えをもつ機会が少ない。

そこで、日本国内の戦争体験者が少なくなってきた今、子どもたちに戦争と平和について考える時間が必要であると考えた。戦争が起きる原因について調べ、世界には様々な事情があることを知った上で、読み物資料「焼け跡に立つ虹」や語り部の講話から、戦争の悲惨さを感じ、命は尊いものであり、戦争は起こしてはいけないものであるという考えに迫りたい。そして、戦争以外の方法で世界の問題を解決することはできないかと問いかけることで、自分たちにもできることを考えさせ、平和な世界を創っていこうとする態度を養っていききたい。

## 3 単元計画

単元計画	学習内容
1 戦争と平和について、今後の課題を設定する	<p>★平和とはなんだろう。【実践1】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○世界共通の願い…「平和」</li><li>○「平和」と聞いて、イメージすることを出し合う。</li><li>○過去の戦争、現在の戦争について知っていることを出し合う。</li><li>○学年共通のテーマ「戦争から、平和な世界について考えよう」を設定する。</li></ul> <p>★「自分テーマ」を決め、一人調べをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○争いを起こしてしまう人の心、争いの歴史、争いが起きている国の現状について調べる。</li><li>○戦時中の暮らし、原爆の被害について調べる。</li><li>○平和のために活動する団体、フェアトレード製品やエシカル商品、支援する活動について調べる。</li></ul>
2 様々な人と交流し、平和について、考えを広げる	<p>★講師の方から、話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○広島平和記念資料館の方の話、愛知戦争に関する資料館の見学、NPO活動をしている方の話を聞く。</li></ul> <p>★調べてきたことをもとに話し合いをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○なぜ戦争は起きてしまうのだろうか。【実践2】<ul style="list-style-type: none"><li>※争いを起こしてしまう人にも、思いや考えがあることに目を向けられるようにする。</li><li>※資源や領土の問題など、難しい問題もあることを感じるができるようにする。</li></ul></li><li>○戦争が起きると、どうなってしまうのだろうか。【実践3】<ul style="list-style-type: none"><li>※「焼け跡に立つ虹」を活用し、戦争の悲惨さを考える。</li><li>※どのような理由があっても、人の命を奪う戦争は起こしてはいけないことに気付く。</li><li>※戦争は悲惨なものだが、起きてしまう現実があることから、戦争をなくすために自分たちにできることはないか考える。</li></ul></li></ul>

	<p>○戦争をなくし、平和のためにできることは何だろうか。</p> <p>※募金など行動面だけでなく、活動に対する平和への思いなど、内面的にも考えられるようにする。</p> <p>※自分たちだけでなく、ほかの人にも伝える段階へとつなげる。</p>
3 考えをまとめ、発信する	<p>★戦争と平和について、考えたことを伝えよう。【実践4】</p> <p>○学習発表会で下級生や保護者に向けて、戦争から考えた平和について、思いを伝える。</p>

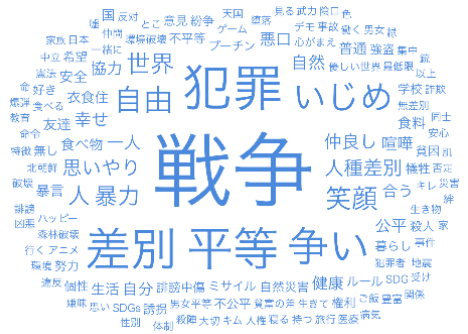
#### 4 実践

##### (1) 平和とはなんだろう【実践1】

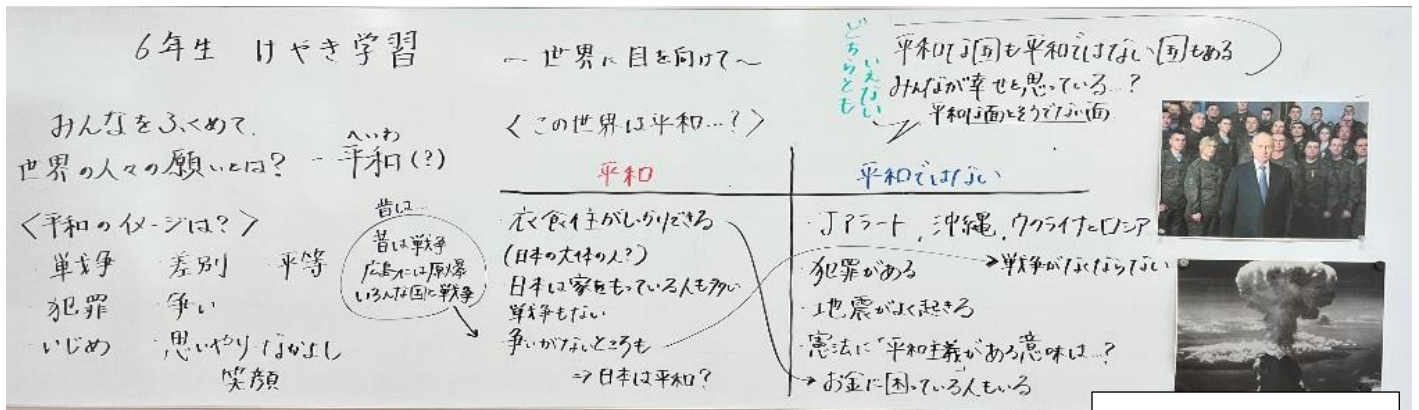
本校では、総合的な学習の時間を「命のつながり」というテーマで系統的に学習している。1～3年生は植物や動物の命、4、5年生では防災や福祉の学習を通して、自分自身や地域の方々の命に目を向けて考えてきた。そして、6年生では、世界に目を向けて命について考えていくことを児童と共有し、学習を始めた。

導入として、「平和」と聞いてイメージすることは何か問いかけた。すると、児童は戦争がない、いじめがないなどと答えた。資料1は、タブレット端末のアプリを使って、キーワード検索をした結果である。ほとんどの児童が平和と聞いて、戦争という言葉にイメージした。

そして、この世界は平和なのかと問いかけた。(資料2)すると、自分たちは衣食住が整っていて、平和であるという児童もいた。一方で、ロシアとウクライナの戦争のことや、Jアラートのことから平和ではないという児童もいた。児童から平和についての疑問を出し、今後、戦争の面から平和について考えていくことで学習を進すすめていくことにした。



資料1 児童の平和に対するイメージ(キーワード検索)



資料2 実践1の板書

実践1を終えて、児童は自分の知りたいこと(自分テーマ)を決めて、調べ学習を行い、広島平和記念資料館の方や認定NPO法人テラ・ルネッサンスの方とのリモート講義、愛知戦争に関する資料館の見学を行ってきた。そこで、児童の自分テーマを分類し、「なぜ争いは起きてしまうのか」「戦争の実態」「平和のために何ができるのか」の三つのテーマについて話し合いを行うことにした。

##### (2) なぜ、争いは起こるのだろうか【実践2】

これまで、調べたことをもとに、資料3のように、「争い」を中心に描いたワークシートを配付し、戦争の原因についてまとめる時間を設けた。



資料3 児童のワークシート

その後、全体で共有すると、「資源」「領地」「宗教」「食糧」など問題が多く挙げられた。そして、戦争をしてしまう人たちがもっているのは、どんな思いなのか話し合いをした。すると、「豊かで幸せな生活をしたい」という自分たちにもある気持ちと同じ部分もあることに気付いていった。さらに、人間には欲があって、その欲はどうしようもできないのではないかと発言する児童もいた。

## 2 今日の感想(今日の話し合いで感じたこと)

争いの原因はたくさんあり、どうしようもできない問題などがあり、本当の平和は実現できないのではないかと感じました。

### 資料4 児童の感想

最後の感想からは、資料4のように、争いを起こしてしまう人の気持ちを捉えた児童が多く見られた。

## (3)「焼け跡に立つ虹」の実践実践3

### <指導案>

学習内容	教師の支援											
<p>1 前時の話し合いを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○争いを起こしてしまう人にも、思いや考えがある。</li> <li>○自分たちの生活を守るために、戦争をしている人もいる。</li> </ul> <p>2 「戦争への考えメーター」に現在の自分の思いを表す。</p> <p><b>【戦争への考えメーター】</b></p> <table border="1" data-bbox="116 869 858 936"> <tr> <td>戦争が起きてしまうのは、ある面仕方ないのでは？</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>どんな理由があっても戦争はしてはいけないものだ</td> </tr> </table> <p>3 本時の課題を設定する。</p>	戦争が起きてしまうのは、ある面仕方ないのでは？	4	3	2	1	0	1	2	3	4	どんな理由があっても戦争はしてはいけないものだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時のワークシートを振り返り、争いの原因について考えたことを振り返るように指示する。</li> <li>○争いをしてしまう人に、寄り添った考えをしている児童を取り上げ、発表する場を設ける。</li> <li>○自分の考えを明確にするために、「戦争への考えメーター」で表した数値の理由をペ</li> </ul>
戦争が起きてしまうのは、ある面仕方ないのでは？	4	3	2	1	0	1	2	3	4	どんな理由があっても戦争はしてはいけないものだ		
<p>戦争が起きると、どんな生活が待っているのだろうか～焼け跡に立つ虹を読んで～</p>												
<p>4 「焼け跡に立つ虹」を読んで、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戦時中の悲惨な生活に驚いた。</li> <li>○空襲についての話を読み、とても怖くなった。</li> </ul> <p><b>【感想を書くワークシート】</b></p> <div data-bbox="151 1317 576 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>体験記のタイトル</p> <hr/> <p>印象に残ったところ</p> <hr/> <p>読んだ感想</p> </div> <p>5 戦争への考えメーターを記入し、本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの生活が苦しくても、やはり人の命を奪うことは絶対にしてはいけないと感じた。</li> <li>○いろいろな事情で戦争が起こってしまった。その結果、悲惨な生活になってしまうことが分かった。</li> <li>○何か問題があったときは、戦争では解決にならない。話し合いで解決しないといけないと思う。</li> <li>○戦争がこれ以上起こらないために、何かできることはないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童一人ひとりが手元で資料を読めるように、PDF化したデータをタブレット端末に配付する。</li> <li>○多くの話から戦争の実態をつかむために、学級の全員が違う話を読むように分担する。</li> <li>○印象的な場面に線を引くように指示する。</li> <li>○友達の感想も読めるように、タブレット端末の共有アプリを活用する。</li> <li>○友達のワークシートを読んだ感想を発表し、共有する場を設ける。</li> <li>○前時の学習をふまえて、記述している児童を称賛する。</li> <li>○これからの学習につなげるために、何かできることはないかと考えている児童を指名する。</li> </ul>											

## <授業の実際>

### ① 前時の感想を発表し、戦争への考えメーターに初めの考えを表す

初めに、前時の感想を全体で共有した。「平和になることは難しい」という意見が多くあった。そして、戦争への考えメーターに記入すると、人数は資料5の通りになった。「戦争が起きてしまうのはある面仕方がないことではないか」の側に少しでも寄っている児童が29人中26人いる結果となった。

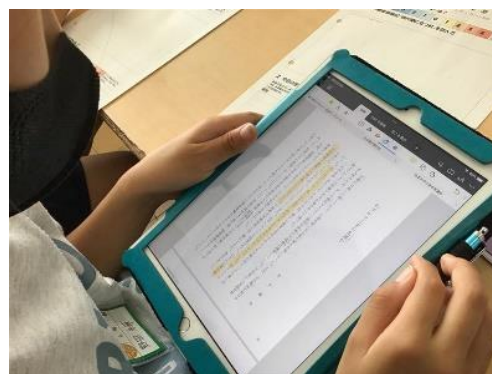
戦争が起きてしまうのは、ある面仕方がないのではないか	4	3	2	1	0	1	2	3	4	どんな理由があっても戦争はしてはいけないものだ
人数	0	2	1	2	2	2	6	11	3	計 29人

資料5 初めの戦争への考えメーター人数分布

### ② 焼け跡に立つ虹を読み、感想を交流する

次に、「戦争が起ると、どんな生活が待っているのだろうか」と課題を設定した。愛知県の戦争体験記である焼け跡に立つ虹を児童に紹介し、みんなで読み、感想を交流することを伝えた。焼け跡に立つ虹は、体験記が30程度ある短編集である。クラスの児童に一人一話ずつ割り振り、一人一台タブレット端末を使用して、PDFのデータを読むように指示した。

資料6のように、印象に残ったところに線を引きながら読んでいった。児童は戦争中に食べ物がなく苦しんでいたことや、死と常に隣り合わせだったという表現に驚き、線を引く姿が見られた。



資料6 タブレット端末で焼け跡に立つ虹を読む児童

体験記のタイトル	体験記のタイトル	体験記のタイトル
戦争と私の仕事	戦場に兄を見送る	苦しく長かったあつころ
印象に残ったところ 雑草を食べていたところ。 理由戦争が終わっても(戦後)も食糧不足が続いて雑草を食べていた。戦争が疲へい(心身が疲れて弱っていること)になっていた	印象に残ったところ 焼夷弾の無気味な光と爆弾が空を横切って落ちる時の「ザー」と身ふるいするような音の中で「生きた心地もなかった」や、「戦争と死は常に一体である」	印象に残ったところ ・働ける人は働きに行く ・食べ物を持ち帰ろうと必死だった
読んだ感想 戦争では防空壕に入っていてそこからアメリカのB29が墜落するところを見た「万歳」と言っていた→それだけでも嬉しかった。 雑草をたべたり、毒ではないものなら食べていたという事から当時は本当に日本の戦況が悪かったということが分かりました。また戦後になっても食糧不足が絶えないことを知りどうやって食糧不足の状況から今の日本になったのかが知りたくなりました。	読んだ感想 爆弾が空を横切ると言うのは戦争中にとっても不安定な生活をしたんだなあって分かったし、「戦争は常に死と一体である」のところから戦争中はいつ、どこで、人が亡くなってもおかしくないんだと思いました。	読んだ感想 いまでは働きに行くのはありえないけど昔は働ける人は働きに行くし、食料がないからみんな必死で食べようとしていてびっくりした。

資料7 焼け跡に立つ虹を読んだ児童の感想

その後、タブレット端末のアプリを活用し、印象に残ったところとその感想をまとめた。すると資料7のように、戦争の悲惨さや当時の暮らしへの驚きをまとめた児童が多くいた。

その後、資料8のように、感想を共有できるようにして、友達感想を読む時間をとった。(資料9)それぞれ違う話を読んでいるため、意欲的に読む姿が見られた。「別の話も読んでみたい」とつぶやく児童もあり、さらに戦争の実態に興味をもつことができた。

そして、友達感想のまとめを読んだ感想を発表し、全体で交流した。「〇〇さんの読んだ話が怖い」や「これが日本だと思えない」など、戦争の悲惨さを全体で共有し、思いをふくらませることができた。



資料8 友達感想を交流できるアプリ



資料9 友達感想を読む児童





は、話の中の死の表現から、戦争の恐ろしさを記述している。この児童は、友達を読んだ話から感想を書いており、一人一話読み、共有することで、自分が読んだ話だけでなく、別の話からも戦争で亡くなった人への思いをもつことができたことが分かる。児童Dはメーターで、「戦争が起きてしまうのは仕方がない」側に大きく寄っていた児童だが、戦争はいけないことであることを認識することができた。その上で、「自分たちが戦争を広げてしまっている」と自分事として考えることができた。

児童Eはクラスで唯一、戦争への考えメーターの変容が見られなかった。「戦争は繰り返してしまうから仕方がない」と記述している。授業後、個別で話を聞くと、戦争は悲しいけれど、誰かが平和になるためには、戦争が起きてしまうと話していた。戦争の悲しさは感じているものの、争いがなくなる現実を感じていることが分かった。

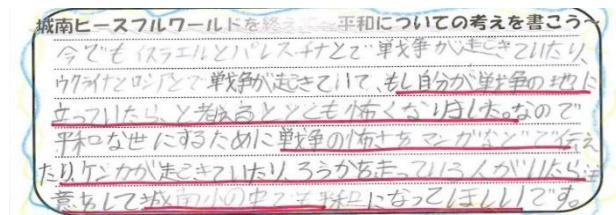
#### (4) 戦争と平和について、考えたことを伝えよう **実践4**

本校では、10月下旬に学習発表会がある。総合的な学習の時間の成果を模造紙にまとめ、下級生や保護者に発表している。資料12はその様子である。戦争が起きる原因や戦争中の暮らしについて、調べたことや話し合ったことをもとに、自分たちの思いを発表した。



資料12 学習発表会の様子

資料14は学習発表会の児童の振り返りである。資料13の児童は、イスラエルの戦争やロシアとウクライナの戦争にも目を向けて記述しており、今世界で起きている争いを自分事として考えていることが読み取れる。自分の周りから平和にしていきたいという思いをもつことができたと分かる。



資料13 学習発表会の振り返り

### 5 終わりに

本実践は、総合的な学習の時間を使って継続的に学習してきた。多くの団体との交流を通して、争いの歴史や世界情勢を知ることによって、単に戦争はいけないものだという考えではなく、戦争が起きてしまう原因に目を向けることができた。「争いをなくすことは難しいが、戦争で人の命が奪われることは絶対にあってはいけない」という考えが、平和な世界をつくるために、何ができるのかと思いをもちことにつながったと考える。このことから子どもがある程度、知識や考えをもった状態で「焼け跡に立つ虹」を活用すると、より効果的だと感じた。また、本年度、「焼け跡に立つ虹」がPDF化されたことで、タブレット端末でも読めるようになり、活用しやすくなったと感じる。

しかし、各学校によって、総合的な学習の時間の取り組み方はさまざまである。そのため、社会科や国語科など他教科と関係づけたり、特別活動の時間を活用したりして、争いが起きてしまう原因について考える機会を設け、その後、「焼け跡に立つ虹」を使って実践してみてもどうか。特に、今回小学校6年生を対象に実践を行ってきたが、歴史の授業や、国語の読み物の中にも戦争を取り扱ったものがあり、関連させやすい。

今、第二次世界大戦を体験した方が少なくなっている。また、世界では様々な争いが起きており、日本にとっても決して他人事ではない。これからの世界の問題に子どもたちとともに目を向けていく必要がある。今後も、私たち教員が争いの歴史や世界の現状を正しく知り、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと、平和な世界を創っていこうとする子どもたちの心を養っていきたい。